

望ましい「生活習慣・学習習慣」づくりに向けて

学校で、家庭で、地域で、いろんな面で頑張っている遠阪っ子。そうした中で、気になる点もあります。本紙12月号でもお伝えしました「全国学力・学習状況調査」など学校でのアンケート調査の結果から、子どもたちの家庭での生活や学習の様子で、次のような気になる点が浮かび上がっています。

PTAでは・・・ 「親子でつくる」家庭のルール(「ケ条」)の取組

遠阪小PTAでは、左記のような子どもたちの課題に向き合い、PTAとして昨年11月下旬頃から、「親子でつくる」家庭のルール(「ケ条」)

遠阪っ子の気になる「生活習慣・学習習慣」

家庭での生活の様子 → 気になる「生活習慣」

- 平日、テレビを見たり、ゲームをしたりしている時間が長い。
「3～4時間以上」の児童がいる。
- 夜寝る時刻が遅く、睡眠不足の児童がいる。
「夜11時～12時頃」まで起きている児童もいる。

家庭での学習の様子 → 気になる「学習習慣」

- 家庭学習に取り組む時間が短い。土・日曜日には、ほとんどしない児童がいる。
- 宿題をするのを忘れてくる児童がいる。
- 読書をする時間が短い。ほとんど読書をしない児童がいる。

に取り組んでいただいています。これは、各家庭で、親子が対話し、家庭での子どもの「生活習慣・学習習慣」を今一度見直し、改善していこうとする取組です。
親子で話し合っ決めてルール(約束事)が各家庭の中に根付いていくよう、一歩一歩粘り強く取り組んでいただければ有り難いと願っています。

学校では・・・ 「家庭学習の手引き」を基にした 学習習慣づくりの取組

本校では、児童の学習習慣づくりを進めるため、年度当初に、本校作成の「家庭学習の手引き」(低・中・高学年編、保護者用)を、児童及び保護者の皆様に配付しています。

低・中・高学年に分けて、児童が家庭学習に取り組む時のめあてや約束事、具体的な進め方を分かりやすく示しています。保護者の皆様には、子どもの家庭学習を支えていただくポイントなどを示しています。

学校では、この「家庭学習の手引き」を基にして、児童一人一人に望ましい学習習慣が身に付くよう粘り強く指導しています。

「本だいですきつ子大作戦」

「読書が好きなお子」を育てるべく、アンケート調査の結果で、もう一つ気になる点は、児童の「読書意欲」「読書習慣」です。



▲県立図書館から講師を迎えて読書指導

「読書が好き」と回答する児童が少なく、これに伴い読書する時間も短い、という現状があります。こうしたことから、本校では本年度、

「本だいですきつ子大作戦」と銘打って、年間を通じて総合的に取組を進めていきます。

「学級文庫」や「ランチルーム読書」...

読書環境を整える

図書室にある本を各教室の「学級文庫」に置いて読めるようにしています。また、ランチルームにも青垣図書館から貸出しを受けた本を置き、給食準備のすきま時間を利用した「ランチルーム読書」をしています。このように、本をできるだけ身近に置き、手に取りやすくし、児童が本に親しめる環境づくりを工夫していきます。

「出前講座」や「子ども司書」...

公立図書館と連携する

取組を進める上で、丹波市立中央図書館や青垣図書館、更には兵庫県立図書館との連携を一層強くしています。図書館にあるいろんな分野の本の「団体貸出し」を定期的に受けたり、図書館ボランティア等に来校いただき、「出前講座」をしてもらったりしています。

また、保護者の協力を得て、丹波市立中央図書館が主催する「丹波市子ども司書養成講座」を積極的に受講してもらっています。これにより、毎年1名ずつ「子ども司書」が誕生しています。(昨年度：徳田祥弥さん、本年度：松本羽月さん)

「読み聞かせ」や「読書通司」... 読書意欲を高める

適時、児童の読書意欲を高めるきっかけづくりをしています。教師による「読み聞かせ」の他、図書館ボランティア等による「ストーリーテリング(素話)」などを行っています。

給食時には、図書委員会の児童が「おすすめの本」を紹介してくれています。

また、毎月の第1週を「読書週間」と位置づけています。「読書カード」などを活用しながら、いろんな本を積極的に読むように意欲付けや働きかけをしています。

子どもたちの望ましい「生活習慣・学習習慣」が身に付くようにするためには、学校と家庭とが課題を共有し、互いに連携して、粘り強く取り組んでいくことが何より大切です。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

